

知る

周囲が浸水した状況を体験。危険性を知る。



学ぶ

身近な災害を学び、自分ごととして考え、備えの大切さを理解する

- 風水害、土砂災害など、**身近で起きた過去の災害の状況を確認し、必要な備えを学ぶ**
- ARで**体験した状況が、実際に発生している**ことを学ぶ



備える

避難カードを作成する。家庭や地域で備える。

- **ハザードマップ**の内容・確認方法等を確認

- **家の周りの危険や避難のタイミング、避難場所などを避難カードに記入**

- **学んだことを自宅等で共有し、家庭や地域で災害に備える**



わたし(山口〇〇)の避難カード 記入例			
災害の種類	どのような危険があるか (災害リスク)	いつ逃げるか (避難のタイミング)	どこに逃げるか (避難場所)
土砂災害	土砂災害特別警戒区域の中 (すぐ危険なところ)	警戒レベル3が出たらすぐに	〇〇小学校体育館
川の氾濫	〇〇川が氾濫したら、浸水50cm以下 (家の2階まで避難すれば大丈夫)	〇〇観測所の水位が、氾濫危険水位に達したら	家の2階
《家族や隣りになる人の緊急連絡先》		《家の周りの地図》	
名前	連絡先		
お父さん	090-0000-9999		
お母さん	080-0000-9999		
自治会長	083-0000-9999		
《持ち出すもの(避難所で手に入らないもの)》		《避難を呼びかける人とタイミング》	
<input type="checkbox"/> 防災リュック	<input type="checkbox"/> 防災ガイドブックで詳しく調べてみよう	声をかける人 (一緒に逃げる人)	いつ声をかけるか (声をかけるタイミング)
<input type="checkbox"/> 携帯充電器	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	隣の田中さん	警戒レベル3がでたらすぐ
《避難を呼びかける人とタイミング》		連絡先	気をつけること (持ち物など)
		直接呼びに行く	薬をもって避難する